

□議員名：吉永 美子

1 東日本大震災被災地への支援について

論点	被災した本市だからこそ、東日本大震災被災地へ「忘れない」というメッセージを送り続けることができるのではないかな。
回答	昨年議員から提案された、市役所、総合事務所、市民病院のモニターディスプレイでの「東日本大震災を忘れない」というメッセージの表示について、今年も3月1日から行う予定にしている。

論点	本市にも一人避難しておられるが、その方に対して復興状況などの情報を提供していくことが大事ではないかな。
回答	福島県から避難しておられる。その方が少しでも心が癒されるようにすることは大切なことだと考えているので、そういった対応をしたいと思う。

2 総合計画を実施するに当たり、市長の思いについて

論点	いよいよ市長の思いのこもった総合計画が実施されるが、市民の一体感をどう醸成しようとしているのか。
回答	まずは、市民に山陽小野田市はこんなに素晴らしい所なんだということを感じていただくことからスタートしていくことになると思う。その作業の過程の中で、市民の一体感は必然的に生まれてくると感じている。

論点	総合計画を実施していく中で、市長は職員のモチベーションをどのように向上しようとしているのか。
回答	まず最初に目的があって、次に目標、そして共感と、みんなが同じ方向を向いていく中では、職員全体の意識が大切である。特に、私の中では課長が大きな役割を果たすのではないかと考えている。

論点	市民の一体感を醸成するためにも、イメージキャラクターの設定をすべきではないかな。
回答	ロゴであるとか、その他もろもろの事業については、予算上もある

	程度は想定をしているので、新しい課の中でしっかり議論して進めていきたいと考えている。
--	--

論点	職員のモチベーション向上には、横断的な連携が大変必要である。メールで横断的な情報共有や交換をする投げかけを、市長自ら行うべきではないか。
回答	職員の中、市の内部における情報の共有というのは、全てにおいて大切なことであるので、日頃から私もメッセージを出していきたい。

3 市民の健康づくりについて

論点	市民の健康づくりを進める観点から健康マイレージを提案してきたが、来年度から導入するに当たり、留意点は何か。
回答	平成30年度は、県主催の「やまぐち健康マイレージ」に参加することにより、健康づくりに無関心の方の意識を高めるなど、健康づくりに関心を持つきっかけの一つにしたい。今後とも関係各課と協議をしながら、独自のマイレージ制度も継続して考えていきたい。

論点	平成28年12月議会で、小学生以上を対象とする宮崎市を先進地例とする旨の答弁を得ていたが、子どもたちを入れての健康マイレージにならなかった理由は何か。
回答	県が推進している事業に、本市としても参加して県全体での取組を推進したい考えがあった。県のほとんどの市町が18歳以上で実施している中で、年齢についての協議がなかなかできず、とりあえず今年度は県の事業から取り組んでみたい考えである。

論点	がんの原因や予防、検診、治療法などの正しい知識を伝えるだけでなく、命についても考えさせることができるのががん教育であるが、学校におけるがん教育の取組状況はいかがか。
回答	体育科、保健体育科でのがんに関する学習は、小学校6年の「病気の予防」と中学校3年の「健康な生活と病気の予防」の単元内で行っている。学校が情報提供や外部講師の派遣等に係る相談を希望す

	る場合、教育委員会の学校教育課内に相談窓口を設置している。
--	-------------------------------

論点	全国において、全児童生徒を対象にA E Dの使用を含む心肺蘇生教育を行っている学校の割合は非常に低い状況であるが、本市では小中学校における心肺蘇生教育の取組はどうなっているか。
回答	中学校 2 年の単元の中で、各学校ともしっかり取り組んでおり、それ以上の取組については、健康教育活動の一環の中で学校教育活動全体を通じて行うことになっている。

4 ガラス文化推進について

論点	本年、第 7 回現代ガラス展を開催するに当たり、ガラス文化推進のための取組を聞く。
回答	本市のガラス展は全国公募のガラス展として一定の評価を得ており、近年、回を重ねるごとに入場者も増加している。今回、新たな試みとして開催後の 9 月に、県立萩美術館浦上記念館で受賞作品展も予定しており、ガラス文化の魅力やガラスのまち山陽小野田市をしっかりと発信していきたい。

論点	ガラス展と子ども文化ふれあい事業とのコラボについて、児童がガラス展にも行かれるように学校に話していくべきではないか。
回答	2 回前のガラス展は 2 校が参加したが、前回は結果的には調整がつかずだめだったと聞いている。今回は子どもたちにガラス展に来てほしいと、校長会、教頭会にも話をしている。当然、教育委員会とも連携を図っていく。